

健やかに生きる

ヘルプマークを ご利用ください

様々な困難を抱える方たちの、それぞれの特性に応じたきめ細やかな支援を行うためには、バリアフリー設備の整備などに加え、人による支援が欠かせません。しかし、中には、難病をはじめ、内部障害や義足、妊娠初期など、その状態を外見から判断することができない場合があります。そこで、県では、そのような方を一目で認識し、配慮や必要な支援を行えるよう、新たに「ヘルプマーク」を導入します。また、電車やバスなどの公共交通機関で、ヘルプマーク対象者の優先席の設置を

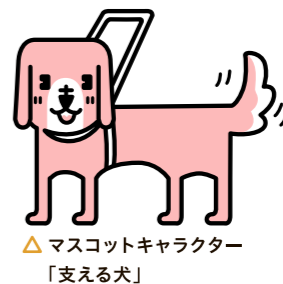


△ヘルプマーク

提案するなど、ヘルプマークがより効果を発揮できるように取り組んでいきます。



△佐賀県障害者差別解消のシンボルマーク



△マスコットキャラクター「支える犬」

発達障害で 悩んでいる方々を 支援しています

県では、発達障害の方やそのご家族を総合的に支援するための窓口として、「発達障害者支援センター」を鳥栖市と多久市に設置しています。専門スタッフが、発達障害に関する様々な相談に応じるとともに、情報提供や助言を行い、必要に応じて関係機関へつなぎます。また、最近では、成人の発達障害の方が、仕事上の悩みを抱えるケースが多くなっています。



佐賀県発達障害者就労支援センター「SKY~スカイ~」

☎0952-20-2971
佐賀市駅前中央1丁目7-131
相談日：毎週月～金曜日（祝祭日、年末年始は除く）
時間：9時～17時

そのため、成人の方を対象とした支援窓口として、新たに「発達障害者就労支援センター」を設置しました。ここでは、就労に関する相談を中心に受け付け、必要な助言や支援を行うとともに、発達障害の方を雇用している企業や事業所を対象に、発達障害の理解促進のための研修会を行います。

想いに寄り添う 認知症ケア

認知症になると、記憶障害や判断力の低下といった基本的な症状のほか、不安や焦燥、介護を嫌がるといった行動・心理症状が起ることがあります。しかし、こうした症状は、認知症の方それぞれに合ったケアが提供されることによって緩和することができます。

適切なケアが着実に提供できるよう、県では、認知症の方を一定の時間観察・記録してケアの質を評価し、その結果を現場の



△認知症ケアの様子

介護スタッフへフィードバックする「認知症ケアマッピング」の手法を用いて、認知症ケアの質の見える化を進め、介護スタッフの気づきを促していきます。こうした取り組みにより、認知症ケアの質の向上を図り、認知症の方の想いを尊重するケアを提供していきます。

介護の仕事の 魅力を発信します

急速に少子高齢化が進む中、2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる超高齢社会を迎えます。



高齢者人口の増加により、高齢者が安心して生活できるためのサービスをさらに充実することが求められています。サービスの担い手となる介護人材は全国的に不足している状況です。

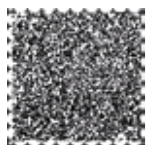
介護人材の不足の原因は、様々なものがあげられますが、介護の仕事に対してマイナスのイメージが先行してしまい、敬遠されていることも要因の一つとなっています。

このため、県では、介護の仕事を紹介するテレビ番組の放送や介護の現場で働いている方々を紹介する冊子を発行し、やりがいや夢など介護の仕事の魅力を発信していきます。



詳しくは

長寿社会課 ☎0952-25-7054 ✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp



詳しくは

障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉ shougaifukushi@pref.saga.lg.jp

